

石原燃

書き下ろし新作

演出=小森明子

彼女たちの断片

2022.3.23 水→27 日

伝承ホール 渋谷区文化総合センター大和田

ある夜、広告デザイナーの晶（洪美玉）と、その母で、仏語翻訳者の葉子（志賀澤子）が暮らす家に女たちが集まっていた。大学生の多部（仙石貴久江）が妊娠し、中絶に付き添うことになったのだ。晶とともにデザイン事務所を経営する天野（原口久美子）と、その娘のみちる（永野愛理）。デザイン事務所の後輩である涼（山崎智子）。そして、葉子の友だちのまゆみ（奈須弘子）。女たちに見守られ、海外の支援団体から手に入れた中絶薬を多部が飲む。女たちは語り合う。歴史について。政治について。それぞれの経験について。その言葉は、互いに響き合い、いつしか社会そのものを映し出していく——

日本ではまだ未承認の中絶薬を使った「中絶」を実行する一夜を描く、石原燃書き下ろしの意欲作。

作中に、フラッシュバックを起こす恐れのある台詞がございます。心配がある方はご自身の状態に注意してご観劇ください。



静谷晶
洪美玉

天野ゆき
原口久美子

高崎涼
山崎智子

静谷葉子
志賀澤子

天野みちる
永野愛理

多部真紀
仙石貴久江

水越まゆみ
奈須弘子

音楽/国広和毅 舞台美術/香坂奈奈 衣装/稲村朋子 照明/真壁知恵子 音響/川崎理沙・島猛 映像/三木元太
宣伝美術/Judith Clay・奥秋圭 舞台監督/浅井純彦 演出助手/黒川アンナ 制作/太田昭 制作助手/志賀澤子



石原燃 (Nen Ishihara)

劇作家。小説家。

世界には手術以外にも中絶の方法がある。初めてそれを知ったのは、2年くらい前だったと思う。ちょうど Metoo 運動の高まりがあって、フラワーデモに何度か参加させてもらっていた頃だ。一応、先進国のひとつとされる日本の中絶医療が遅れているというのは、衝撃だった。と同時に、なぜそうなるのか知りたくなった。調べてみると、そこには政治があり、戦争があった。私にとって中絶について書くことは、この国の根幹を知ることだった。



2022.3.23 水→27 日

	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日
14:00	●	★	●	●	●
19:00	●	●	●	★	●

料金——全席自由（整理番号順の入場） 前売——カンフェティ

一般前売 3800円 / U30 前売 3000円

★は Low Price 2500円

ペアチケット 6000円 / 当日 4500円

■託児サービスあります。詳細はHPでご確認ください。

※コロナ感染予防対策を講じた上で公演いたします。



TEE 東京演劇アンサンブル / 野火止 RAUM
〒352-0011 新座市野火止 3-16-24
TEL:048-423-2521 ticket@tee.co.jp http://www.tee.co.jp

助成——文化庁舞台芸術創造活動活性化事業
協賛——ケンタウルの会



背中のあざ

ちょっと曲がった小指



ぜんぶわたしのからだ

くせ毛



とがった鼻



おしゃべりな口

